

雪不足と言いながら雪まつり開始前日は、大雪となった札幌です。雪まつりにも足を運びましたがコロナウイルスの影響で例年より観光客が少ない感じでした。

今回は北海道の冬祭りのもうひとつ、氷祭りを紹介致します。『支笏湖氷濤まつり』と言いまして千歳空港から40分程の支笏湖で毎年1月下旬～2月中旬に開催されます。支笏湖は支笏ブルーと言われる位水が美しく、その湖水を吹きかけて製作される様々な氷のオブジェが本当に幻想的です。夜になるとライトアップされ、あたり一面幻想的な世界に包まれます。

24時間氷像に湖水を吹きかける作業を数日行うことで完成するそうです。空港からも近いことですので一度は見て頂きたいと思い、ご紹介しました。

ライトアップは午後5時以降になり、氷点下10度にはなりますので防寒対策は必須ですのでお忘れなく。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

首都封鎖というキーワードが飛びだし、都知事会見の1時間後には、早速都内スーパーにおいては、お米やインスタント食品に乾麺などの保存食などを買い込むお客が殺到し、一時パニック寸前までになった首都東京。海外主要都市でもロックダウンとなるなど、コロナによる被害は尋常ではありません。昨年晩夏には大型台風で自然災害を受けたばかりで、回復しようと持ち直す暇もなく、つぎはウイルスによる攻撃で、この時期にまた自然災害でも起きたら一体どうなるのでしょうか。避難所確保など大変です。一刻も早く終息し、また普通の生活に戻りたいと祈るばかりです。

さて、前回に続き東北の話題をおひとつご紹介いたします。福島市にある飯坂温泉の温泉たまごです。ただの卵ではないようで、創業明治11年の阿部留商店さんの『ラヂウム玉子』は今まで食べた温泉玉子とはちょっと違う独特の味わいを持ち、商店さん『5つのこだわり』でご提供されている玉子で、味だけでなくパッケージもかわいらしく親しみやすいものとなっています。また身体にも効能があり、美肌効果・抗酸化作用・脳の活性化・生活習慣病予防・免疫力向上・消化吸収が良いなど、こういう時期だからこそ栄養価が高い玉子にも注目が集まる予感もあります。

しっかりと体力をつけたいと思います。皆様におかれましても、何卒ご自愛のほどお願い申し上げます。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



コロナウイルスの影響で各地の観光に影響が出ています。関西でもUSJの臨時閉園などかなり影響があります。そんな中、2020年3月は特に・・と言いたくなる施設があります。愛称の『スマスイ』で知られる神戸市立須磨海浜水族園。何故かと言うと2020年3月をもって神戸市立ではなくなるからです。水族園は続けられますが民営化によって大幅にリニューアルされる為で、最後の3月に臨時休園を余儀なくされ、飼育員さんは元より思い出の地を最後に再びと思われていた方にも残念だったのではと思います。

さてここは本館以外にもラッコ館、アマゾン館、イルカショーの見られるスタンドなどがあり見所も多い。ただ、廃園ではなくリニューアルで2024年に海遊館以上の規模になるとの話ですので期待は膨らみますよね。ここで新たな世代にとって思い出の場所になると良いですね。



大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は静岡県伊東市にある大室山(おおむろやま)を紹介します。この山は標高580mの火山で、綺麗な形をしているのを写真などで見て以前から気になっていました。

伊豆東部火山郡の活動の中で約4000年前の噴火でできた山で、スコリア丘といわれる火口の周りに円錐状の丘が形成されています。(これが気になっていた綺麗な形の正体ようです...)

外観は写真などで見ていた緑色ではなく、残念ながら今回は冬の為か枯れ草色になっていました。

山の麓からは、大室山登山リフト(有料です!)に乗れば山頂まで行くことができ、火口縁に沿った遊歩道を歩いて1周することができます(1周すると距離もあり、アップダウンもあり少々きついです...)。また遊歩道からは、直径250m、深さ40mのすり鉢状の火口を覗き込むことができます。(遊歩道から火口までも、綺麗なすり鉢形になっています)

遊歩道の途中には、大室山浅間神社や地蔵尊もあり、お参りしながら歩いてみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

先日、新潟の食と文化が楽しめるという『大新潟展』が北九州市の小倉北区で開催されると情報を耳にし行ってきました。新潟県といえば、やっぱりお米!冷めても美味しいコシヒカリが思い浮かびます。次に思い浮かぶのがお酒!!頭の中はそんな妄想でいっぱいになりながら、1時間ほど車を走らせて到着。

早々に入りたいお店があったので、混まないうちにと行って来ました。会場内は結構な賑わいです。その新潟の物産品を横目にそそくさとお目当てのイトインコーナー『越後銘酒 立ち飲みカウンター』へ(笑)。『越乃寒梅』、『八海山』や『菊水』など名だたる銘酒の中から、好みのお酒3杯とおつまみのセットを注文。「冷やで飲むお酒はやっぱり美味しい!」と思ったかどうかはさておき、10分ほどですべて完飲。次は会場奥の『お酒コーナー』でお酒を試飲しながらお持ち帰り用の日本酒を購入し、試飲が終わる頃には出来上がっていたのは言うまでもありません(汗)

他、ねぎ味噌や納豆が入った『栃尾油揚げ』や水に浸すと4倍近くまで膨れ上がる『くるま麩』、珍味の『かんずり』などを購入して帰路に着きました。心残り『へぎそば』を食べられなかったこと。次は必ず食べてみたいと思います!!

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

コロナウイルス感染はインドネシアでも広がっています。死亡率が世界で1、2番目に高くなっています。テレビ、新聞、Social Media (WhatsApp, Line, Facebook)などでたくさん話が出てきて、読めば読むほどきりがなく、不安を高めることがほとんどです。

自分が住んでいるジャカルタは国内コロナ感染者の70~80%を占めています。2週間前から不要不急の外出を避けています。家からあまり出られないので食品の買いだめがおこり、スーパーから大部分がなくなりました。

いつも家内に会社から帰ったらどこにも座らず直接シャワーを浴び、服をすぐ洗濯置き場に置くように注意されます。更に家の中でも何かを触ったら直ぐに専用の石鹸で手を洗っています。更に先日、スーパーで買い物をする際、家内にこの手袋を使って買い物して下さいと言われました。ええ。。。そこまで！と抵抗がありましたが、とりあえずスーパーに行きました。すると買い物しているお客さんたちが何人か同じように手袋を使っていました。

まさかコロナウイルスのせいで生活習慣が急変するとはまったく思っていませんでした。土日や休日時、いつもは家族と一緒に外食に行ったりしますが、今は家で1日中過ごしています。

いつまでこの生活が続くのか全く見通しがたらず、不安を感じています。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

~古いけど新しい~

春分の日から15日。春の温かさを感じるこの時期、中国では『清明節』とよばれる祝日で学校や会社は休みになります。2020年は4月4日が清明節で、通常2日ほど休みが追加され3連休となります。

春たけなわ、天地に清く明るい命の息吹を感じられる季節であることから清明節と言われています。その起源は紀元前の周の時代にまでさかのぼるほど古いのですが、実はこの日が祝日となったのはつい最近、2007年からのことなんです。古いけど新しい祝日なわけです。

行楽シーズンで旅行などを楽しむ人も多いのですが、本来はお墓参りの日であり、日本のお彼岸やお盆にあたります。中国でのお墓参りは『掃墓』と言われ、お墓をきれいにし、お供えをし、先祖にご加護と平和を祈るのは日本とよく似ています。また、さらにお墓の前でお供え用の紙幣を焼く習慣があるそうです。もちろんそれ用に紙幣に見立てた偽物のお金売られており、それを使うのですが、燃やすことにより、先祖のもとに届く、という観念なのかも知れませんね。これは亡くなった家族が天国でもお金に困らずに豊かな暮らしが送れるように、という思いからだそうです。

天国での生活にお金が必要なかはわかりませんが、日本にはない興味深いお墓参りです。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振っています、皆様はお元気でしょうか？！

こちらではインフルエンザが蔓延していて米疾病対策センター(CDC)の発表によると今季の患者数は2600万人以上で死者も1万4000人を超えています。コロナウイルス以上ですよ！

アメリカではオバマケアと言われた医療改革がトランプ政権により頓挫、医療費は高いまです。それにより基本的に風邪などで医者に行くことは稀で大体の場合は市販の薬を飲んで様子を見るというのが一般的です。

CDCの最近の情報で気になるのが、これらのインフルエンザ患者に対してコロナウイルスの検査を行っておらず、もしかすると感染者が含まれているのではないかとのことです。トランプ大統領は対策は万全で大きな心配はないと連日の様に話していますが、果たして本当に大丈夫なのでしょうか？

2月下旬、出張で日本に一時滞在してアメリカに戻ってきた際の入国審査の様子を少しご紹介致します。2月初旬に「過去14日間中国への渡航歴のある外国人はアメリカへの入国を制限する」との通達がありました。日本からの飛行機の中では客席乗務員も含めてほとんどの人がマスクをしていましたが、LAXに着いた途端マスクをしている人はほとんどみかけなくなりました。入国審査でも体温を測られるわけでもなく通常通りの指紋採取と簡単な質問をされただけです。私のパスポートには以前の中国ビザなどがあり、少し緊張していましたが、とくに何もありませんでした。街の様子も普段と特に変わりなくマスクをしている人はほとんどいません。元々アメリカでは日本のように予防策としてマスクを着用する習慣がなく、マスクをしている=病気にかかっている。として見られるようです。

そんな状況ですが、やはり予防は必要ですよ！手洗い、うがいは忘れずに実行しようと思います。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

コロナウイルスは1月から現在まで話題で持ち切りです。

世界はとても便利でいつでもどこでも行けるボーダーレスです。しかし、コロナ問題により、状況が一変しました。現在多くの国が閉鎖され、出入国ができません。

突然政府から日本、スイス、イギリス、及びASEAN諸国から帰国するすべての居住者/訪問者に14日間の待機要請がありました。多くのマレーシア人が朝、シンガポールに通勤/通学し、夕方また戻っていきます。彼らがいなければバスの本数や、病院で働く看護師、配達員が少なくなります。シンガポールに直接的な影響を与えます。

政府は3/18~3/31まで国境を閉鎖すると発表しました。3/17の夜、シンガポールでの仕事/勉強を続けたいマレーシア人で入国のための長蛇の列ができていました。この期間に仕事と私生活に与える影響は計り知れません。

早く封鎖が解除されることを望みます。体調にはお気を付け下さい。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

~オランダでのコロナウイルス~

コロナウイルスはオランダでも蔓延しており、感染者は急増し1000人を超えました。20人の命を奪っています。(3/17現在)

KIOオランダがある北ブラバント州では、多くの患者の感染経路は不明で、様々な感染源があるようです。これは、まだまだ隠れ感染者がいることを意味しています。

週末は外出せず家にいる人が増え、ゴースタウンに変わります。3月から風邪を引いている人は7日間の自宅待機、可能であれば仕事は自宅で行うなどの追加措置が適用されました。企業は最低限の人員で運営し、すべてのイベントは中止・延期。国境は封鎖され、海外旅行などは避けるよう指示がありました。政府は学校の完全閉鎖を決定し、この北ブラバント州でも大々的な検査が行われることでしょう。

ビジネスに関しては、ますます状況は悪化しています。イタリア、スペイン、フランス、ドイツ、オランダなどのヨーロッパは非常に状況が悪く、特にスペインなど一部の国では緊急事態宣言がされています。

これはオランダだけでなく、世界各国に影響を与えており、経済不況に陥る可能性があると考えています。まだまだ不確定なことが多く、いつ収束するのか分かりません。私たちはコロナウイルスの状況を注視しています。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)